

Enjoy with PWC

SEA-DOO

WAKE155 + WAKE PRO

IMPRESSION

前号からスタートしたSEA-DOO WAKE155 インプレッション。実は忙しくてあまり実働していません・・・(泣)。前号のインプレの取材ぶり。これではぶっちゃけインプレにならないので、この号の制作が終わったら頑張ってスケートします！でもひとつ確かなインプレが・・・バッテリーが弱ってました(笑)。動かさないとダメですね～。しっかりメンテナンスもしないとざという時に使えません。みなさんも気をつけましょう。さて、今回は、今年フルチェンジしたSEA-DOO ウェイクエディション最高峰モデル、WAKE PROのインプレも平行してお届けします。どちらが良いかはあなたのお好み次第です！

Special Thanks: ジェットフィールド湘南 (<http://www.jetfield.net>),
55 HEAVEN(<http://www.55heaven.net>), BRP JAPAN(<http://www.brp-jp.com>)



WAKE PRO 215

価格:¥1,890,000(税込)

ライダーとウェイクボーダーに最高のトイニング環境を提供するため、スキーモードやクルーズコントロール、iBRによるブレーキまで装備。煩わしい操作からライダーを解放することで安全性を高め、ウェイクボーダーには安定したハイレベルなライディングを可能にしています

エンジンタイプ: Supercharged
Intercooled Four-stroke, SOHC Three-cylinder Rotax
排気量: 1494cc
エンジン出力: 215hp
全長: 3.53m、全幅: 1.22m、全高: 1.16m
タンク容量: 70L
定員: 3名

OR



WAKE 155

価格:¥1,485,750(税込) ※2009年継続モデル

ウェイクも走りも楽しむマルチパーパスモデル。軽快な走りに定評があるGTIプログレスシブV型ハルに、ウェイクエディションの装備を搭載したコストパフォーマンスに優れたモデルです。

エンジンタイプ: Four-stroke, SOHC Three-cylinder Rotax
排気量: 1494cc
エンジン出力: 155hp
全長: 3.23m、全幅: 1.22m、全高: 1.17m
タンク容量: 60L
定員: 3名

が悩むところ...



WAKE PRO

Impre1 WAKE

立ち上げ



WAKE PROにはスキーモードという機能が装備されている。これは立ち上げスピードを5段階でセッティングできるシステム。ウェイクボーダーなら初心者で2、中級者で3、上級者で4あたり。スケートなら初心者は1でOK。レベルに合わせて数字をセッティング→アクセルは全開で握る→セッティングされた立ち上げスピードでスタート。と、トローリングがより簡単になる

一定スピード



クルーズコントロールが装備されたWAKE PROはスキーモードと併用してセッティングする。スキーモードと同じ、好みの速度をセッティングすればあとはアクセルを全開で握るだけ。スタートもスタート後に一定スピードに保つのも簡単といわうだけ

旋回



装備されたスキーモードとクルーズコントロールの優れた点は旋回時にも表れる。旋回時は自動で速度がアップする。システム機能さえしっかり把握すれば、初心者でも簡単にトーイングが可能。ドライバーの負担が減るので、よりまわりが配れ、安全にトーイングが可能だ

水上での準備



WAKE PROのデッキはかなり広い。船体もWAKE155よりひとまわり大きいので安定している。写真はスケートだが、ウェイクの場合ブーツが履き易い広さがしっかりある

ライダーのピックアップ



ステップを使用しデッキ部にある溝を使ってシート後方のバーに手をかけてあげる感じになるが、デッキ上部の溝が掴み難いのがウイークポイント。まあ女性があがってくるならドライバーが手を差し出すだろう

Impre2 Driving

アクセル



WAKE PROとWAKE155を含む従来のPWCとの大きな違いは、このアクセルレバー(右側)とブレーキレバー(左側ブレーキ&リバース)だろう。ITC(通称フライバイワイヤー)は、従来のワイヤーではなく電子式になっているので非常にレバーが軽い。軽すぎて速度を保ち難い点もあるが、握力が無くなる度合いは格段に低い

ニュートラル



WAKE PROは、右のレバーがアクセル、左のレバーでリバース、ブレーキ、ニュートラルの操作をする。ニュートラルにすると、従来のPWCの様に前進しづらくなるという事が無く、その場で止まり止まる。待機時にも操作が必須だった静止がかなり楽になる

ブレーキ



アクセルでも紹介したが、WAKE PROにはブレーキが付いている。ざっと簡単に言ってしまうが、PWCでは画期的なシステムだ。100%ブレーキに頼るのはNGだが、格段に衝突事故が減る事だろう

エンジン



現在のPWCメーカー間のパワー合戦は熾烈なものがあるが、正直ウェイクには必要ない。WAKE155の155馬力で必要十分だが、WAKE PROはワンクラス上の215馬力のエンジンを搭載している

Impre3 Equipment

スキーパイロン&リボーディングステップ



3段階伸縮式のスキーパイロンと水中から船体にあがる時に便利なりボーディングステップはウェイクエディションの標準装備アイテムだ

リムーバル・ボードラック

WAKE155より脱着が楽になったリムーバル・ボードラック。ただし装着をしつかりしないとはずれる事も・・・。装着手順は写真の通り



Enjoy with PWC SEA-DOO WAKE155+WAKE PRO IMPRESSION



WAKE 155

Impre1 WAKE

立ち上げ



スキーモードが装備されていないベーシックタイプのため、もちろんマニュアル操作。ただし言い方を換えれば、スキーモードの5段階に比べ、無段階で操作可能ということだ。まあWAKE PROもマニュアルで操作すれば同じだが(笑)

一定スピード



クルーズコントロールが装備されていないので、スピードを一定に保つのももちろんマニュアル操作。慣れと自分の感が命。マシンとの一体感、滑りとの連帯感に関してはWAKE PROより深い関係になるはず!

旋回



しつこいようだが、スキーモードとクルーズコントロールが装備されていないのでマニュアル操作。旋回時に必要なスピードのアップをライダーに合わせてコントロールする。最新装備では出来ない微妙な加減速は出来るかは、あなたの腕次第!

水上での準備



ステップ部分はWAKE PROに比べると狭い。が、ボードの装着や準備には必要十分な広さ。船体がひとまわり小さい分、ドライバーと滑り手の密着度はかなり高い。親密度アップはWAKE155の方が上だろう

ライダーのピックアップ



ウェイクでもスケートでもボードはドライバーもしくはスポッターに確保してもらおう。WAKE PROよりデッキ部分が狭い分、ステップに足をかけ、手を伸ばすとシート後部分のバーに手が届くので、船体にあがるのは容易。ここはWAKE PROに勝ったか!?

Impre2 Driving

アクセル



アクセル、バックレバーは従来タイプの配置。メーカーによってアクセルレバーが手前にあるか外側にあるかの違いはある。編集長andyPは、やっとPWCのドライブに慣れてきたところなので、WAKE PROのレバー操作にはかなり戸惑いがある・・・が慣れるとWAKE PROのレバーはかなり良い・・・かも!

ニュートラル



もちろんニュートラルポジションは無いので、エンジンをかけた状態だと情性で前進(リバースをいれれば後退)してしまう。やはりドライバーがリバースを入れたり抜いたり可能な操作技術が必要になる。コンテスト時にレスキューする際など結構大変

ブレーキ



もちろんありませんのでコメント不可能(笑)。周囲の状況に常に気を配り安全に気をつける!

エンジン



155馬力のエンジンは必要十分。トーイングでまったく問題無し。WAKE PROよりひとまわり小さい船体なのでパワーユニットとのバランスはかなりいいと思う

Impre3 Equipment

スキーパイロン&リボーディングステップ

この装備に関してはWAKE PROと同じ。ウェイクエディションを語る上で必須不可欠なアイテムだ。見てすぐひと味違う感じが優越感。この夏、ディーバの視線が気になる



リムーバル・ボードラック

WAKE PROと比べると脱着にテクがいるリムーバルボードラック。しかし、しっかり装着出来るのははずれる心配はなし。装着手順は写真の通り



真夏の良い天気これじゃ・・・

梅雨明けた真夏の湘南での絵図は・・・(悲)。できれば、ピキニの女の子と楽しくウェイク&ウェイクスケートを楽しみたいよね? 編集部もせっかくのWAKE155を、この夏フル活用したいと思います。次号はPWCで釣り!も特集予定です。楽しみに!

